

# TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ヘルプ永山(永山公民館内)  
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

## 開催決定！

«STARTING»

11.23 [sat]

ヴィータホール

(聖蹟桜ヶ丘駅)

# 第23回 映画祭

TAMA CINEMA FORUM

11/23(土・祝)～12/1(日)

(25日(月)は休映)

«HOLIDAY»

11.25 [MON]

«ENDING»

12.1 [sun]

パルテノン多摩大・小ホール

(京王・小田急多摩センター駅)

ベルブホール

(京王・小田急永山駅)

23RD TAMA FILM FESTIVAL 23RD TAMA FILM FESTIVAL 23RD TAMA FILM FESTIVAL

11月の第23回映画祭 TAMA CINEMA FORUM 開催前に、  
当映画祭の見どころをチェック！

<いきのいい>日本映画を讃える「TAMA 映画賞」、日本映画界の新たな才能を  
発掘する「TAMA NEW WAVE」、その他バラエティ豊かなプログラムがあなた  
のご来場をお待ちしております。

当映画祭の多くのプログラムは名画座仕様の2本立てメイン。話題作がお得な  
料金でご覧いただけます。監督や出演者のトークもお楽しみください。

観る人、観せる人、創る人が交流し、映画の楽しさが広がる当映画祭にぜひお  
越し下さい。

FESTIVAL 23RD TAMA FILM FESTIVAL 23RD TAMA FILM FESTIVAL 23RD TAMA FILM FESTIVAL

映画祭の見どころはP2～P3をご覧ください。

# 第23回映画祭TAMA CINEMA FORUM

## 第5回 TAMA 映画賞

「日本一早い映画賞」として、明日への元気を与えてくれる・夢をみせてくれる活力溢れる<いきのいい>作品・監督・俳優を映画ファンの立場から感謝をこめて表彰します。対象は前年10月から本年9月に一般劇場で公開された作品及び監督・出演者・スタッフです。

[これまでの受賞作品・受賞者（敬称略）]

賞	第1回	第2回	第3回	第4回
作品賞	『ディア・ドクター』	『告白』	『一枚のハガキ』	『この空の花 ー長岡花火物語』
	『ウルトラミラクル ラブストーリー』	『さんかく』	『奇跡』	『桐島、部活やめるってよ』
特別賞	八千草薫	若松孝二監督	故・原田芳雄	塚本晋也監督 & Cocco
	木村大作監督		岸田繁（くるり）	入江悠監督 & SR シリーズ スタッフ・キャスト一同
最優秀 女優賞 男優賞	—	寺島しのぶ	永作博美 小西真奈美	樹木希林 宮崎あおい
	—	堤 真一	光石 研	役所広司
最優秀 新進監督賞	深川栄洋監督	川口浩史監督	深田晃司監督	ヤン・ヨンヒ監督
	北川悦吏子監督	山本寛監督	前田弘二監督	沖田修一監督
最優秀新進 女優賞 男優賞	満島ひかり 金澤美穂	安藤サクラ 忽那汐里	井上真央 二階堂ふみ	前田敦子 橋本愛
	高良健吾 渡辺大知	大西信満 金田哲	古舘寛治 染谷将太	神木隆之介 満島真之介

## 第14回 TAMA NEW WAVE コンペティション

中・長篇(30分以上100分以内)の映像作品を対象としたコンペティション。日本映画界に新風を送り込む新しい才能を発見し、TAMAより広く発信することを目的としています。

[これまでの主なノミネート作家の近況（敬称略）]

作品名	監督名	最近の活動内容
バンザイ人生まっ赤っ赤。 (第1回グランプリ) ロケットパンチを君に！(第7回特別賞)	中野量太	13年2月公開『チチを撮りに』がSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2012長編部門で監督賞。また、同作品がアジア太平洋映画祭2012で最優秀助演女優賞（渡辺真起子）を受賞。
盗んだパンをちぎってあげる (第1回ノミネート)	斉藤玲子	12年9月に『よだかのほし』（菊池亜希子主演）が劇場公開。
自転車とハイヒール(第2回グランプリ)	深川栄洋	13年11月に『くじけないで』（八千草薫主演）が劇場公開予定。
かざあな(第8回グランプリ)	内田伸輝	12年12月に『おだやかな日常』が劇場公開。13年2月『さまよう獣』が劇場公開。
反逆次郎の恋(第8回ノミネート)	石井裕也	13年4月に『舟を編む』（松田龍平・宮崎あおい主演）が劇場公開。
へばの(第9回ノミネート)	木村文洋	12年12月『愛のゆくえ』が劇場公開。
最低(第10回グランプリ)	今泉力哉	12年7月に『こっぴどい猫』（モト冬樹主演）が劇場公開。また、同作でトランシルヴァニア国際映画祭2013の最優秀監督賞受賞。
未来の記録(第11回グランプリ)	岸建太朗	11年5月に『未来の記録』が劇場公開。
私の悲しみ(第12回グランプリ)	堀内博志	12年7月に『私の悲しみ』が劇場公開。また12年11月に『耳をかく女』が劇場公開。
かしてい狗は、吠えずに笑う (第13回グランプリ)	渡部亮平	13年3月に『かしてい狗は、吠えずに笑う』が劇場公開。

昨年の上映プログラムとお越しいただいたゲストの方々

ゲスト

大林宣彦監督（『この空の花—長岡花火物語』）／吉田大八監督（『桐島、部活やめるってよ』）／役所広司氏（『キツツキと雨』『わが母の記』）／前田敦子氏（『苦役列車』）／橋本愛氏（『桐島、部活やめるってよ』）／神木隆之介氏（『桐島、部活やめるってよ』）／満島真之介氏（『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』）／塚本晋也監督（『KOTOKO』他）／入江悠監督（『SR サイタマノラッパー ロードサイドの逃亡者』）／沖田修一監督（『キツツキと雨』）／井浦新氏（『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』）／あがた森魚氏／松尾スズキ氏／伊賀大介氏／松江哲明監督／大野更紗氏／やまだひさし氏／江頭 2:50 氏／佐々木中氏など。

上映作品

『この空の花 — 長岡花火物語』『桐島、部活やめるってよ』『わが母の記』『キツツキと雨』『探偵は BAR にいる』『しあわせのパン』『あなたへ』『マーガレット・サッチャー鉄の女の涙』『別離』『少年と自転車』『ル・アーヴルの靴みがき』『サラの鍵』『ぼくたちのムッシュ・ラザール』『KOTOKO』『11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち』『Dear Pyongyang ディア・ピョンヤン』『かぞくのくに』『SR サイタマノラッパー ロードサイドの逃亡者』『おおかみこどもの雨と雪』『苦役列車』『僕は天使じゃないよ』『死刑弁護人』『それからの海（ロング・バージョン）』『シンプル・シモン』など、劇場未公開作品含む全 58 作品。

今年の映画祭情報は、決定次第ホームページ（[www.tamaeiga.org/](http://www.tamaeiga.org/)）にて発表いたします。どうぞ楽しみに！

特別上映会

8月31日(土) 会場：ベルブホール

# 犬と猫と人間と2 動物たちの大震災

（私はどうしたらいいのだろうか？）と本作を初めて観た時、私は戸惑いました。前作『犬と猫と人間と』や『いのちの食べ方』等の作品もいろいろ観てました。そして宮城県で被災した親戚たちを思いながらとても戸惑い、つらつら考え気づきました。

社会の抱える矛盾や問題は、いわゆる社会的弱者、周縁にいる人・モノにとっても顕著に現れると私は考えます。本作に出てくる犬、猫、牛たちも然り。震災後の彼らの現実の姿と、私がいつの間にか（しょうがないでしょ）と是認していたことへのカウンターパンチを食らったがゆえの戸惑いだったのではと今なら思います。

本作にはとても辛い現実がたくさんつまっています。でもそれだけではなく震災からまだたった2年半しか経っていない今、被災地への支援、東京にいる私たちがここで出来るヒントがたくさんつまっている作品だとも思います。

本作品の上映、宍戸監督のお話、本作に登場されるやまゆりファームの方たちのパネルなどからまずは知っていただき、次につながる何かにしていただけたら幸いです。 (越)



© 宍戸大裕

今回の上映会は、普段の上映会とは違う点がありました。1つは上映作品がフィクションであること。もう1つは上映会と同時に「ブック交換会」という本の交換会を開催したことです。PRに関しては、カフェが舞台となった作品ですので、多摩近郊のカフェヘチラシを置かせてもらいました。そのお礼として、ご協力いただいたお店の情報を映画祭のHPに掲載しました。

ブック交換会も好評でした。交換した本を持ち帰るための手作りの紙袋を作成しました。これは、スタッフが一つ一つ手作りのものです。この紙袋はとりわけ評判が良かったようです。

当日までお客さんが集まるか不安でしたが、台湾好き、カフェ好き、ブック交換に興味がある方など、多くの方にご来場いただきました。これで当初の台湾映画の良さを広めるという目的が叶えられました。

最後にゲストの石坂健治氏（東京国際映画祭「アジアの風」プログラミングディレクター/日本映画大学教授）による、台湾映画界の過去の名作から『台北カフェ・ストーリー』へと連なる台湾映画の歴史や、台湾のカフェ事情のお話も非常に興味深いものでした。台湾のコーヒーはアジアの中でも質がとても高いそうです。この話を聞いて、近い将来に台湾へコーヒーを飲みに行くことが目標となりました。（加藤）



ブック交換会に寄せられた多数の本（上）

サプライズゲストの石坂健治氏（左）

## たまシネマ隊 （映画祭の短期運営スタッフ） 募集説明会を行います！

映画祭期間と準備段階（10月～11月）のみお手伝いしていただく期間ボランティア“たまシネマ隊”を募集しています。

映画祭期間中3日以上参加できる方、または準備期間中に活動できる方が条件となります。

今年は9月29日（日）と10月14日（月・祝）に説明会を開催予定です。映画祭の裏側をスタッフとして覗いて見ませんか？

詳細は、HP (<http://www.tamaeiga.org/>)、募集チラシなどをご覧ください。

## 支援会員制度のお願い

“実行委員やたまシネマ隊として参加するのは難しいけれどTAMA映画フォーラムを応援したい”

そんな方はぜひ「支援会員」としてとしての応援をお願い致します。

[支援金寄付 個人会員]

一口1000円 ご協力いただいた方は、映画祭パンフレットの贈呈などの特典もごじます。

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会  
（ご不明な点はお問い合わせ下さい）

こちらもご利用ください ▼

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ [www.tamaeiga.org/](http://www.tamaeiga.org/)

@tamaeiga (最新情報をフォロー) [www.facebook.com/tamaeiga](http://www.facebook.com/tamaeiga) (facebookページに「いいね!」で参加)